

## 平成 28 年度 第 3 回 市長と語ろう！笠間タウントーキング 議事録

開催日：平成 28 年 5 月 25 日（水）午後 6 時 45 分～8 時 15 分

場 所：笠間市役所 教育棟 2-2 会議室

出席者：青年経営者クラブ 8 名

### 《フリートーク（意見交換）》

○クラブ           補助金のメニューはいろいろある。私は米と麦を栽培していて、補助金はあるがありがたい。主に機械購入時に使っている。でも対象とする機械が少ないので、対象となる機械の種類を拡大してほしい。例えば、トラクターの後ろにつけるローター等だ。

○市長           補助対象が限定されていて使い難いということですね。

○クラブ           米だと色彩選別を行うが、補助金で買おうとしたら、対象外であった。

○市長           いろいろな制度があり、国の制度を変えることはできませんが、市で行っている制度は改善していきたいと思います。ハードルが高かったり、機械に限定されていたりするものを検討してみます。

○クラブ           補助金の申請で期限が残り 10 日ぐらいで案内があった。10 日ではどうにもならない。出来るだけ早く情報がほしい。

○市長           国の制度は急なものがあります。とにかくできるだけ早く、対応できるようにします。

○クラブ           私は草刈り機を購入するときに補助金を使おうと思った。でもその補助金は、効率を上げるものだけだった。うちの場合、切り花をやっているが、雑草が生えると切り花がダメになる。そういう意味で草刈りをしなければならぬ。作業効率を上げるという基準が分からない。だから私は今まで、補助金を使ったことがない。

                  小規模、中規模、新規者が課題になるのは機械だ。生産、生

活が安定するまで、我々のクラブに加入するのは遠慮したいとのことである。だから補助を手厚くするべきだ。市が押す作物とかにも手厚くお願いしたい。

○市長 本当は、使っていただきたいです。でも使いづらいというところがあると思います。補助金の原資は税金なので、すべてを対象にすることはできませんが、ある程度は範囲を広げてみいかもできません。検討します。

経営が軌道に乗るまでの期間ですね。

○農政課長 平成 28 年 4 月から制度を見直しました。

○市長 昨日は商工会の青年部と懇談会を実施しました。その質問の中で、個人で起業する場合は支援してもらいたいとの意見がありました。それと同じですね。勉強してみます。

今まで、国や県の制度があるので、それに上乗せした方が、ボリュームが上がるのでそうしていました。勉強してみます。

○クラブ 私たちは生産の方ばかりになって、補助メニューを知らない。知っている人だけが得してしまう。調べるすべもない。

○市長 総会の時に農政課に声をかけてもらって、市、国、県の情報を提供する機会を作るといいと思います。市の担当者と呼ばば、情報が伝わると思います。

国の制度はインターネットで公開されています。我々もインターネットで収集しています。ただ、国、特に農水省は農家に直接のものもあるので、自分から情報を取ることも必要だと思います。心掛けてほしいと思います。我々も情報を出していきます。

○クラブ 助成金は造り替えるときはダメだと言われた。

○市長 1 度補助金を使うと何年かは申請がダメというのがありますね。

○クラブ 私の父の代に入れた機械で、もう 25 年になります。

- 農政課長 市では、同じものは1回と決めています。
- 市長 再利用ですね。5年、10年は難しいかもしれないが、耐用年数が過ぎれば良いと思います。勉強させていただきます。
- クラブ 農家は忙しいときの波がある。忙しいときに人を雇える「農援隊」ができたと聞いた。
- 市長 そうです。今どういう状況か。
- 農業公社係長 ハローワークの許可待ちです。
- クラブ 2週間とかでも雇えるのか。
- 農業公社係長 どういった方がよろしいのでしょうか。
- クラブ あまり高齢でなければ。
- 市長 農家の希望と働く人の希望が合うかどうかですね。賃金が上がってきています。1週間のパートだと高めにしないと人は集まらないのではないのでしょうか。どの業種もそうだが、人を集められない傾向にあります。
- クラブ 忙しいときは賃金が高くても1週間使ってもいい。
- クラブ 葡萄を二人で出している。市長がトップセールスすることは可能か。
- 市長 今度行きましょう。どこで販売しているんですか。
- クラブ 三越に主に出しているが、独自に出した時にトップセールスしてほしい。
- 市長 県知事みたいにはいかないが、やってみないとわからないのでやりましょう。

役所はけっこう役に立ちます。遠慮なしに役所や市長をどこにでも引っ張り出していただいている。どんどん使っていただいている。

- 市長 トマトはどうですか。
- クラブ 品があふれている。だから値段が下がっている。定期的に市場に持っていけば、ある程度の値段になる。私は生協に卸している。注文がないときに市場に持っていく。
- 市長 市場以外はどこで販売しているのでしょうか。
- クラブ 直売所などだ。
- 市長 どのくらいの量を出荷していますか。
- クラブ 毎日 300kg~400kg だ。
- 市長 買いに来る人はいないのでしょうか。
- クラブ はねものを買に来る。それはそれで助かる。
- 市長 そうなると直売所ですね。
- クラブ 直売所は自分で値段を付けられる。
- 市長 道の駅の話があります。笠間は農協が 3 箇所直売所をもっています。農協と張り合ってもしょうがないと思っています。  
国の制度を使わないと道の駅にはできない。市が主体にならないとダメのようです。
- クラブ 高速道路のサービスエリアはどうか。
- 市長 笠間パーキングエリアで行おうと思い、土地を用意しました。でも、人の流れがダメです。パーキングエリアの中はマージン、そして同じ商品はダメとのこと。

○クラブ 笠間は交通の要衝というイメージがありますので、それを生かして道の駅ではないか。

○市長 国道 355 号のみどりの風は最高の場所です。農協はどう考えているかわからないですが、あそこは事故が多く、トイレなどの苦情があります。農協に投げかけています。何回か相談しましたが、JA 常陸になって、なかなか話ができなくなっています。農協ができなければ、市が部分的にとっています。もう一度話してみます。

売る場の確保ですね。笠間稲荷門前通りの空き店舗を利用して八百屋を始める人がいます。市場関係の仕事をしていた人で、若い人です。私はおもしろいと思っています。当たると思います。今度紹介します。

○クラブ 私たちは生産していると個人では難しい。行政が入ってくると信用度が違う。

○市長 商工会の人と話してみると面白いかもしれないです。ギフトショップをしている人がいて、贈り物を送るとき笠間のパンフレットを入れてもいいと言っている人がいます。

いろいろな形で情報発信する。異業種の人と接点をもっと作ると面白いかもしれません。

○クラブ 私は全部直売所に卸している。周りはみんな高齢化でやめている。私は直売所でさばける。あとはやめた農家の土地を借りてやっていきたいと思っている。

○市長 規模拡大は課題があるのですが、人を雇って、土地を引き継いでという考えはあるのですか。

○クラブ 今は自分の土地も余らせているが、将来的に広げて行きたい。

○市長 今の規模がいいのか。人を雇い規模拡大の方がいいのか。

○クラブ 規模拡大はいいと思う。最終的には人手だ。やってくれる人

は探せばいると思うが、だれでもいいというわけではない。技術がないと難しい。だから簡単には雇えない。

- 市長           年間という意味ですか。
- クラブ           私のところは、年間を通して忙しい。機械も使える人がほしい。しかし、その人につきっきりというわけにもいかない。
- 市長           素人ではない経験者のバンクを作って、Aさんならば、給与はいくらですという感じでしょうか。若いのでチャレンジしてもらいたい。
- 農業公社係長   年間を通した雇用の要望があるとは思ってもみませんでした。
- 市長           これからは人材です。役所も人材確保です。
- クラブ           職員は市内より市外から採るのか。
- 市長           考え方は能力です。
- クラブ           消防団に入ってくれる人がいなくなってきたので困っている。
- 市長           今は周辺自治体からが5割ぐらいです。たまに東北からとかです。その場合は、市内にアパートを借りています。
- クラブ           消防団の人員確保が難しい。
- 市長           最大の課題は人員ですね。すぐではないが、ポンプ車も40数台から30数台にしていく。今年から実施していきます。古い詰所については最低ラインを設けます。ポンプ車はA分団とB分団の統合でどちらか新しい方を残します。どちらも新しければ、他の古いところに回して、古い車両を処分していく方向です。
- クラブ           他から来た人には、消防団は浸透しない。
- 市長           アンケートによると、地元で働いている人は約3割でした。

昔は6割から7割の時代もあったと思います。昼間の火事に対応できないので、統合で若干は改善すると思います。

○クラブ 自営業に対する負担が大きくなっている。PTAの話が来る。消防をやり、PTAをやり、他の付き合いとかをやる。市として自営業の人の負担を抜いてくれればいいと思う。

○市長 若い人は、消防、PTA。年を取ってくると今度は区長、民生委員など、その人の負担が大きく皆さん参っている。  
勤めの人、若い人は働いていて、ダブらないようにするのが理想でしょうね。

○クラブ イノシシの被害がある。

○市長 昨年、捕獲隊がイノシシを80頭駆除しました。しかし駆除しきれない状況です。

○クラブ 野ウサギの被害がある。幼木をかじられてしまう。

○市長 捕まえられないのか。

○農政課長 ウサギは初めて聞きました。ウサギは捕まえられません。保護動物です。捕まえたら逃がさなくてははいけません。  
猫もダメです。ハクビシン、野犬は捕まえられます。

○市長 野ウサギについては、先進地を調べてみます。

○農政課長 わなを仕掛けに行きますので、何かあれば言ってください。

○クラブ 陶炎祭は今年入込客数で県一番だったが、その時に焼物と農産物とか産業同士をつなぐといいなと感じた。常陸大宮の方で東京から先生を招いて展示会をした。  
笠間であれば、食器と一緒にPRをできればと思う。何か連携したい。そういうイベントができるのであれば、市の名前で通知してくれると信用される。

○市長

陶炎祭は焼物の販売なので、難しいかもしれません。

いずれにせよ、手伝ってほしいというものがあれば、遠慮なしに言ってもらえれば、トップセールスをします。